

# 白、森小国から

会社の敷地内にできた雪山はまだ3m以上の高さがあるし、周りの景色も白いまま。しかし日に日に溶けているのが分かる。ジムニーで遊ぶのはもうしばらくの我慢だが、気持ちは抑えられない。「今年は何をやるのか？」とスタッフや仲間達と熱く語る毎日が続いている。

文／今修  
写真／K-PRODUCTS



## 新たな競技を開催!

ようやく小国にも春が来た感じがする。雪が解けて無くなっていくこの季節は、何事も前向きに物事を考えられる。「よっしゃ〜今年も頑張るか!」ようやくこんな感じのテンションになって来た。今年は何をして遊ぶのか? 昨年オープンしたオフロードコースを使って楽しいイベントをやりたい。毎年恒例のk-pro ミーティングもそうだけど、熱くなれる競技をやりたいね〜!

自分の場合は耐久レースをメインに参戦しているが、トライアルもスピードトライアルも嫌いなワケではない。可能であれば全ての競技に参戦したいのだが、仕事があるしそうはいかない。だから出場できる競技は限られ、またそれがシリーズ戦ともなればなおの事それに集中してしまうのだ。そこで考えた。トライアル競技とスピードトライアル競技、両方を楽しめる競技なんてどうだろうか?

4〜5個のセクションを設けて、半分をスピード競技、もう半分をトライアル競技とするのだ。もしくは1セクションだけスピード競技、残りをトライアル競技にするのもあり。その場合はスピード競技のポイントを大きくし、トライアルだけ上手くても勝てない、スピード競技だけ上手くても勝てないルールにするのはどうだろうか?

表彰はトライアルとスピードそれぞれに加えて、総合でも行う。言うなればジムニーオフロード総合格闘技のナンバー1

を競い合うイベントだ。これを1年間のシリーズ戦にして、シリーズ上位3名には賞金を贈呈する!

やっぱ貰って嬉しいのは賞金だよな〜。どうよこんな競技? 「スピードなら負けね〜よ!」とか「トライアルなら負けね〜」なんて狭い世界じゃなく、総合的な技術を競う競技があれば熱くなれるんじゃない?

大会名は【M・C・J・カップ】とか、いいんじゃない? 何の略かって? 正式名称はMost Clever Jimnistで、『最上級の利口で賢い、才気のあるジムニー乗り』という意味が込められているのだ。そんな事考え出したら超やりたくなった〜。よっしゃ〜やるか! じゃいつやる? 今でしょ〜! って感じで、スペシャルな競技を開催することに決定!! 詳しくはk-products オフィシャルサイトを閲覧頂きたい。http://www.k-products.jp/

さて、昨年オープンして、予想以上の来場者を数えたオフロードコースAREA-Dだが、そろそろ走れるようにな

るだろう。遠くからご利用に来られる方も多く、そこでよく尋ねられるのが宿泊先である。小国町は読んで字のごとく本当に小さい町なので、ホテルらしいホテルは数が少ない…。でもバンガローとか、オートキャンプ場などもあるので、是非k-proまで直接お問い合わせ下さい! 裏事情(?)も含めてお教えしますよ〜。

それで夜のお酒は是非とも『Bar SaHanBi』で、スペシャルなカクテルを楽しんで頂きたい。DBレーシングの小野さんもお気に入りのお店で、小国に来た時は必ずここでスペシャルなカクテルをちびちび…イヤ、ぐびぐび! イヤ! がぶがぶやってるのだ(笑)。そして、何故かアルコールの苦手な俺も、ここBar SaHanBiの落ち着いた雰囲気に癒されて、ちょくちょく利用している。また、ここにはジムニーに関するネーミングのカクテルもあるので、是非そんなスペシャルなカクテルを飲みながらジムニー談議でも楽しんで頂きたい。



ビートルズを聴きながらゆっくりと流れる時間を贅沢に過ごせる店「Bar SaHanBi」。酔うためではなく味わうために飲む、そんなスペシャルなカクテルを提供している。山形県西置賜郡小国町岩井沢 843 TEL:0238-62-3020 PM19:00〜年中無休



## 満を持して コンプリートカーを販売

前号に続き車検ネタを紹介。今年からk-proでJB23の新車コンプリートジムニーを販売することとなった。新車コンプリートは各ショップ様が販売されているが、k-proでは初の試みなので、慎重に作らねばならない。新車コンプリートジムニーを販売するにあたり、やはり気になるのは車検の問題だ。何インチUPまでなら車検を通るのか? って事じゃなく、タイヤの関係もあるので、車高が何センチまでなら車検に通るのかをはっきりさせないと販売は出来ない。しかも9型からボンネット形状が変わり、8型までの車両よりも数cm高くなったので、保安基準第44条第5項「直前直左確認鏡の技術基準」がまたもや車検時の大きなネックになっているのだ。

山形県軽自動車検査協会に電話で状況を説明して、実際の車両を見てもらえないかお願いしたが、答えはNO…。『事前に車両を見て車検に通るとか通らないとかは言えません』と断られたのだ。数年前までは事前に車両を見て意見を貰っ

ていたのだが、なんでだろ? 今はできないと言われたのだ。

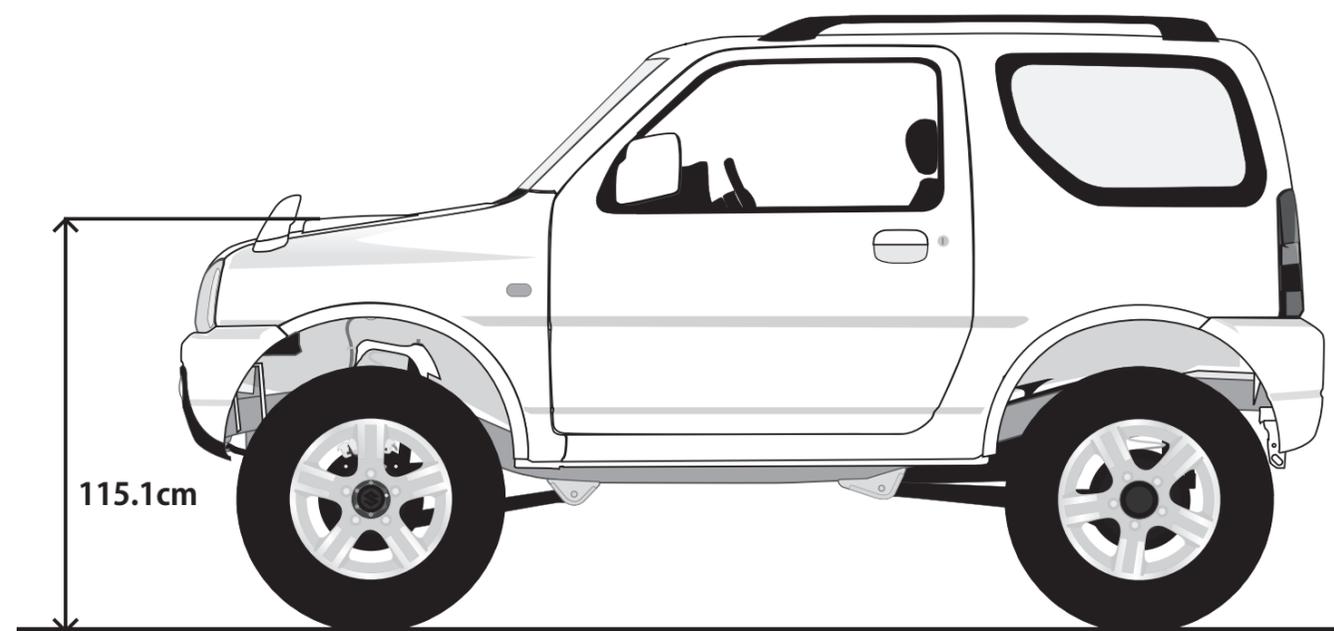
自社で検査基準に従い大丈夫だと判断しても、それは保証できるものではなく、最後は検査協会の判断が全てとなる。しかも、実際にいつも車検を通していているショップさんなんかは承知でしょうが、1度でも検査員がNOと言ったら、それを覆すにはかなりの時間と体力が必要となるのだ。こちらとしても自社で検査確認しているワケだから、NOと言われても簡単に「はい、そうですか」とか言えない時がある。だから今まで何度も検査官とぶつかったりもしたが、とにかく時間がかかるのは間違いない。

それに今回の場合はパーツではなくて車両、しかも実際に車検切れが来るのは3年後だから、きっちりさせないと怖くて販売できない…。そこで今回は一番手取り早い方法で事実確認をする事にした。一旦車検を切って再度取り直す方法である。新車だから3年車検が付いているのだが、それを切って取り直すと車検が2年になってしまう…。もったいない話だが、通るか通らないかを実証するにはその方法しかない。

車検を取り、その結果を紹介してもらおうべく、スーパーズー編集部に同行してもらい【山形県軽自動車検査協会】に行ってきた。本来であれば撮影は禁止だが、今回は特別に許可をもらい取材させて頂いた。

やはり思っていたとおり、ボンネットのエアダクトが邪魔をしている。8型までとは構造が違うので、邪魔だからと言って取り外して低くすることは不可能。タイヤ外径も関係するので、何インチまでとかではなく、地面からボンネットのエアダクトまでの高さで言うと115cmがギリギリ「直前直左確認鏡の技術基準」に引っかけられない高さだった。ちなみにサスペンションはk-proオリジナルの2インチUPキット、タイヤはヨコハマジオリンダー185/85R16だ。

注意したいのは、この高さであれば全国どここの検査協会でも車検に通るというわけではないこと。不安な人は近くのジムニープロショップ(認証工場)に相談して頂きたい。なお今回の【山形県軽自動車検査協会】に持ち込んだ様子は78〜79ページに載っているのでご覧いただきたい。



車検をクリアしたリフトアップ仕様のボンネットダクトの一番高い場所は地面から115.1cmだった。多分この高さが限界だと思う。これより少しでも高いと車検に通らない。これ以上車高を上げるには…我々の今後の課題だ!